



知床科学委員会

しんぶん

適正利用・エコツーリズム

検討会議

NO. 9



私たち羅臼と斜里の資産である知床世界自然遺産の、観光の未来や可能性について話し合う場が「適正利用・エコツーリズム検討会議」です。今回は知床での観光利用の実態を調査する重要な活動についてお知らせします。

必見！ TOPIC

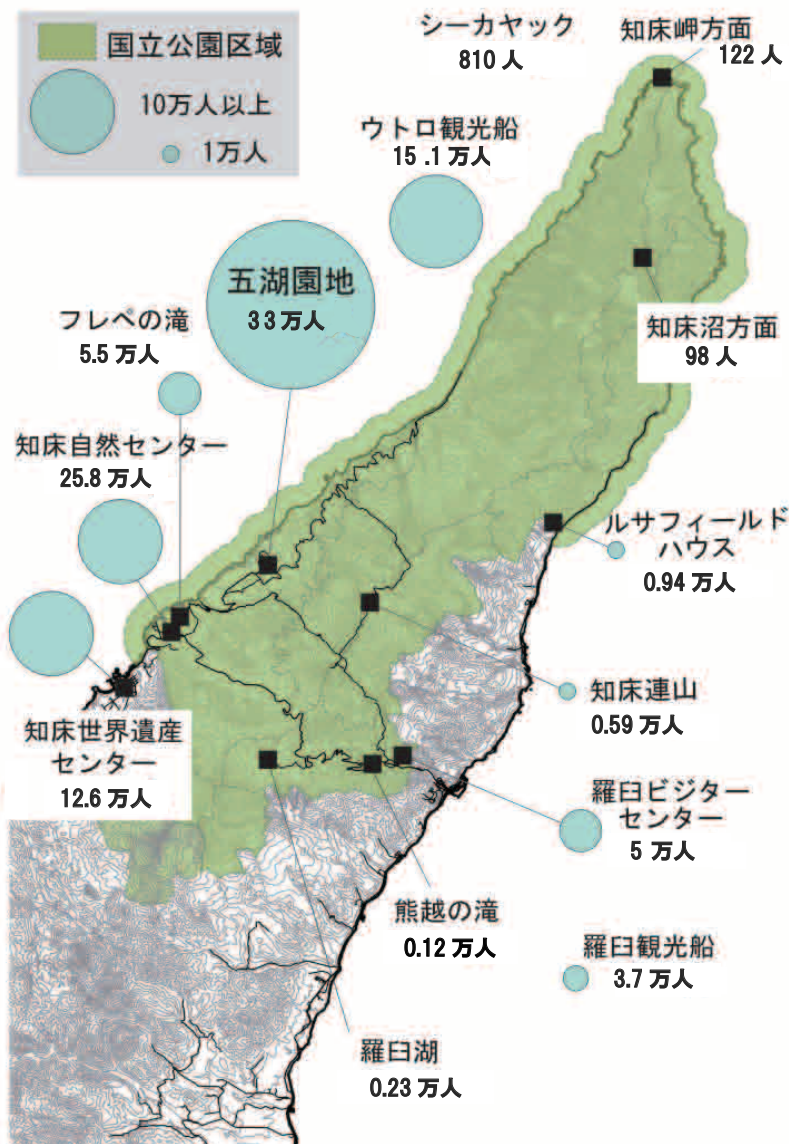
1年に160万人が訪れる知床半島！

自然環境や野生動物を大切にしながら、その魅力を伝え、観光客も満喫するのがエコツーリズムの考えです。知床ではそのための基礎となる利用者のデータを、関係機関の協力を得ながら地道に集めています。

何を調べているのかな？

ビジターセンター等の施設入場者や、遊歩道や登山道の利用者、観光船やシーカヤックツアーなどの観光客数を調べています。

2019年の利用者数（1月～12月）



どうやって調べているの？



計測カウンター

遊歩道や登山道の利用者数を自動で計測するカウンターを設置しています。この機械の前を何人通過したかが記録されます。

色々な方法で、調査しているんですね！

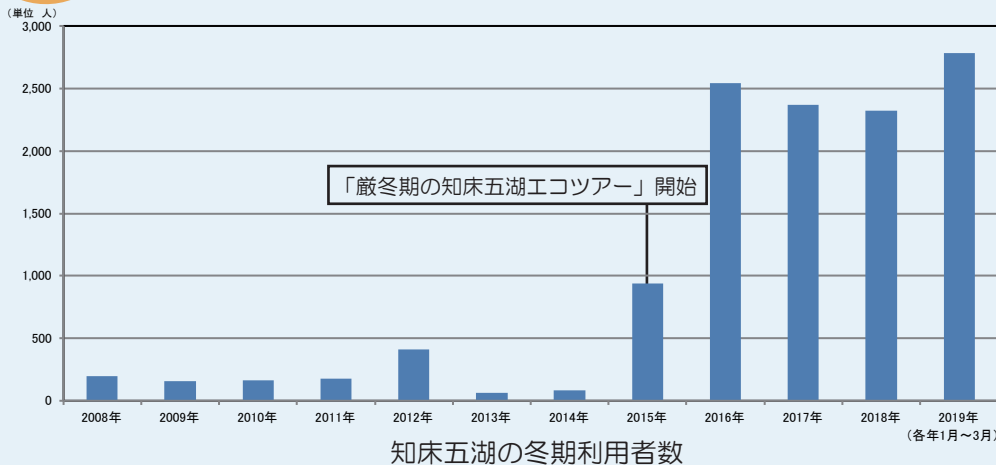


観光事業者の皆さんにお願いしてデータを提供してもらいます。



地道なデータ収集ですが、これが知床半島の保全と効果的な利用のためになると言うことで、一生懸命取り組んでいます。

地域の発案で始まった 冬の知床五湖のツアーが活況です

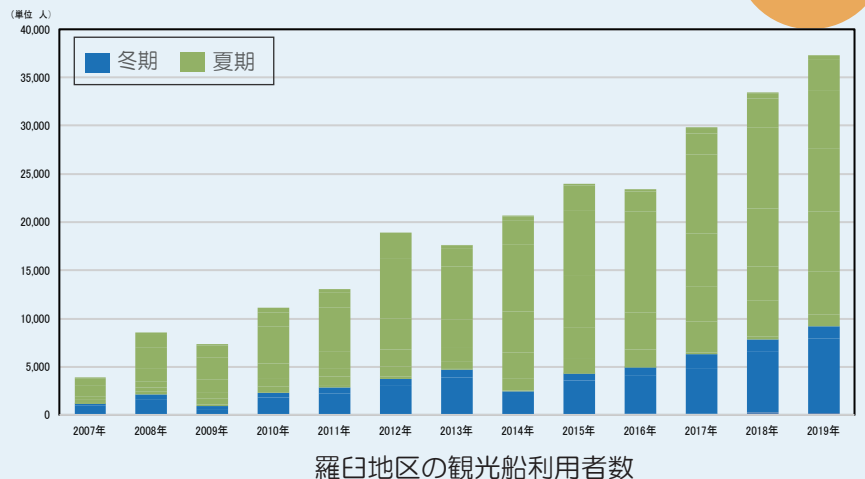


冬の知床五湖は積雪のために特別なスキルや道具を持った人しかアクセスできませんでしたが、除雪して、ガイドが責任を持って案内をするツアーが実現しました。『厳冬の知床五湖エコツアー』は、適正利用・エコツーリズム検討会議において、地域が提案して認められた特別なガイドツアーです。2015年の開始以来、冬にしか出会えない景色を求めて、年間2000人を超える観光客が参加する人気ツアーに成長しました。その半分は海外からの観光客です。



羅臼の観光船は、夏期のホエールウォッチングや冬期の流氷とワシウォッチングが人気で、毎年のように利用者が増えています。羅臼観光の人気のアクティビティです。

人気上昇中の観光 羅臼の観光船



2019年度も適正利用・エコツーリズム検討会議を実施しました。(9/30 斜里町)



エコツーリズムにかかわる地元の方や行政機関、専門家たちが集まり、知床半島の自然環境を保全しながら有効活用するために話し合っています。



利用者のデータ収集は地道な作業ですが、そこから変化や傾向を知り、その調査結果を用いて、知床の自然環境を保全しながらうまく活用することができます。これからも、地域の皆様には調査へのご協力と観光振興、特に環境にやさしいエコツーリズムの推進へのご支援、ぜひとも、よろしくお願いします。

利用状況調査の詳しい内容や適正利用会議についてもっと知りたい方はコチラ！

知床データセンター
<http://dc.shiretoko-whc.com/>

他にも知床で行われている様々な研究データをご覧いただけます。会議は公開しています。ぜひ討議を見学に来て下さい。

■問合せ先■

環境省釧路自然環境事務所 〒085-8639 北海道釧路市幸町 10-3 釧路地方合同庁舎 4 階 TEL 0154-32-7500 FAX 0154-32-7575

■発行：環境省

■制作：公益財団法人 知床財団

■発行日：2020年4月